

科目名		理学療法評価学実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
評価学で身に付けた評価技術を用い、実際に各疾患を評価していく。									
検査結果の記録を行うことができ、症例の情報を管理する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
疾患に応じた評価項目の列挙を行う。理学療法評価学Ⅰ・Ⅱで身に付いた正常者への評価方法から疾患別に評価方法を選択し、疾患別の障害像にあった主要評価方法を練習する。									
症例に対して行った検査結果の記録を行い、症例の情報を管理する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
・各疾患の特性に応じた評価項目が選択できる									
・選択した項目を客観的な評価ができる									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	〃								
3	第1症例準備；評価項目列挙と内容の確認。実技練習。								
4	〃								
5	症例①；モデル来校（検査＋起居動作・起立動作の観察）								
6	〃								
7	症例①；モデル来校（検査＋歩行動作の観察）								
8	〃								
9	症例①；経験症例ノート・デイリーノートの確認								
10	症例①；動画に基づいた動作観察確認。ポイントの教示。								
11	〃								
12	〃								
13	第2症例準備；評価項目列挙と内容の確認。実技練習。								
14	〃								
15	症例②；モデル来校（検査＋起居動作・起立動作の観察）								
16	〃								
17	症例②；モデル来校（検査＋歩行動作の観察）								
18	〃								
19	症例②；経験症例ノート・デイリーノートの確認								
20	症例②；動画に基づいた動作観察確認。ポイントの教示。								
21	〃								
22	〃								
23	総まとめ；評価実習Ⅰに向けての最終確認								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
Crosslink 理学療法学テキスト 理学療法評価学	中山 恭秀	MEDICAL VIEW

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記テストを行い評価する。